

は“視聴覚教材は感覚的・具象的であり、それだけ写実性や迫真性も高いので、児童生徒への興味を喚起し、学習意欲を盛んにすることができる”と述べているとおり、視聴覚教材の利用が学習指導に果たす役割は大きいのである。したがって、これら、ひとつひとつの積み重ねが、教育工学的手法に結び付いていくのである。

では、おもな教育機器の利用状況はどのようになっているのだろうか。県内の小学校・中学校のアンケート調査の結果から次のようなことが判明した。

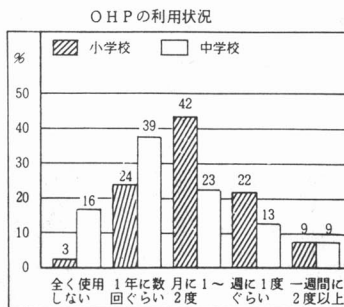
＜教育機器利用調査＞

授業を行う際、使用頻度の高いもの三つを次の中から選んでください。

- ① OHP
- ② 8mm映写機
- ③ 16mm映写機
- ④ スライド映写機
- ⑤ コンセプト映写機
- ⑥ 放送の生利用
- ⑦ 放送等の録画利用
- ⑧ テープレコーダー
- ⑩ シート式録音機
- ⑩ ラジオ
- ⑪ レコードプレーヤー
- ⑫ 写真機
- ⑬ L L 装置

テレビの生放送利用、第3位がテープレコーダーとなっている。OHPは、いずれの学校においても使用され、各教室内に浸透しているようである。小学校の2位・3位が、テレビ、テープレコーダーとなっているのに対して中学校の2・3位は一樣でなく多彩なのは教科のもつ特性によるものと思われる。

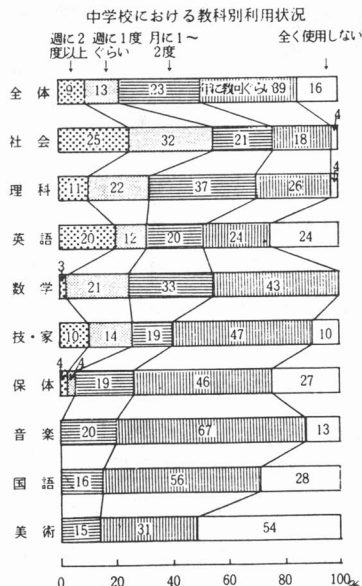
次に、第1位のOHPの利用状況を見ると、校種間の利用状況の差は明らかであり、中学校の利用が少ない。また教科によっても相当な差のあることがわかる。



教育機器の利用状況（三つ以内選択、上位五つだけ表にまとめた。単位は%）

担任	順位	1位	2位	3位	4位	5位				
小学校	全体 OHP	90.1	テレビ	74.7	テープレコーダー	50.0	レコードプレーヤー	38.9	スライド映写機	9.3
	低学年 OHP	88.6	テレビ	77.3	レコードプレーヤー	61.4	テープレコーダー	50.0	スライド映写機	4.5
	中学年 OHP	92.6	テレビ	85.2	テープレコーダー	51.9	レコードプレーヤー	29.6	VTR	5.6
	高学年 OHP	90.0	テレビ	68.0	テープレコーダー	54.0	レコードプレーヤー	34.0	スライド映写機	18.0
	担任外 OHP	85.7	テレビ	50.0	テープレコーダー	28.6	レコードプレーヤー	21.4	スライド映写機	14.3
中学校	全体 OHP	72.8	テープレコーダー	48.7	VTR	19.2	スライド映写機	17.9	レコードプレーヤー	16.1
	国語 テープレコーダー	90.9	OHP	60.6	レコードプレーヤー	12.2	VTR	9.1	ラジオ	9.1
	社会 OHP	89.3	スライド映写機	39.3	テープレコーダー	35.7	VTR	10.7	16ミリ映写機	7.1
	数学 OHP	97.0	テープレコーダー	15.2	スライド映写機	6.1	8ミリ映写機	3.0	テレビ	3.0
	理科 OHP	96.4	VTR	60.7	スライド映写機	35.7	16ミリ映写機	21.4	テープレコーダー	10.7
	英語 テープレコーダー	100.0	OHP	70.4	VTR	14.8	ラジオ	3.7	レコードプレーヤー	3.7
	音楽 レコードプレーヤー	100.0	テープレコーダー	86.7	OHP	26.7	スライド映写機	6.7	ラジオ	6.7
	美術 スライド映写機	46.2	OHP	30.8	テープレコーダー	15.4	テレビ	7.7	VTR	7.7
	技・家 OHP	95.2	テープレコーダー	33.3	スライド映写機	14.3	写真機	14.3	ラジオ	9.5
	保体 テープレコーダー	57.7	OHP	46.2	レコードプレーヤー	46.2	VTR	42.3	スライド映写機	26.9

* 機器のあとの%は、担当学年または担当教科のアンケート回答者に対する%である。



OHPの利用状況は、小学校、中学校ともに第1位であるが、その利用頻度は調査内容と結果を見る限り低く、あまり利用されていないことがわかる。したがって、他の機器の利用頻度はもっと低くなっているのが現状である。

この表を見ると、第1位がOHP、第2位がテ